

## 第 1 回 玉名市都市計画マスタープラン策定委員会 議事概要

### (1) 策定委員会概要

日時	平成24年5月25日(金) 午前10時～
場所	市役所本庁3F 第一委員会室
出席者	<p>委員長：西島 衛治（九州看護福祉大学教授）          副委員長：秋元 一秀（崇城大学准教授）          委員：福本久美子（九州看護福祉大学教授）、羽山 眞澄（熊本県建築士会あらたま支部代表）、寺田 誠一（玉名市農業委員会会長）、松本 重美（玉名市議会建設委員長）、荒木 信義（玉名商工会議所会頭）、西村 敏男（玉名市商工会会長）、谷口 強（玉名市社会福祉協議会事務局長）、東 隆夫（玉名市区長会協議会会長）、徳村 美佳（男女共同参画社会づくり地域リーダー）、境 あゆり（JAたまな女性部横島支部長）、井田 浩一（玉名警察署交通課長）、清田 伸也（有明広域行政事務組合消防本部 玉名消防署長）、村山 栄一（熊本県玉名地域振興局長）</p> <p>事務局：坂口建設部長、三次課長、松野課長補佐、神永係長、森田主査、森川主任（都市計画課）</p> <p>コンサル：福満、松島、野呂（玉野総合コンサルタント株式会社）          ※他、地域振興局1名、熊本日日新聞社1名</p> <p style="text-align: right;">※敬称略</p> <p style="text-align: center;"><b>計 26名（部会メンバー15名、事務局6名、コンサル3名、他2名）</b></p>
会次第	<p><b>○委嘱状交付式</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 委嘱状交付</li> <li>2 委員紹介</li> <li>3 市長挨拶</li> </ol> <p><b>○策定委員会</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 策定委員会開催の主旨・目的</li> <li>3 委員長及び副委員長の選任について</li> <li>4 報告事項 （報告1）市民アンケート結果</li> <li>5 議事 （議題1）都市計画マスタープランにおける本市の課題</li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>

(2) 主な意見及び質疑応答

● (報告1) 市民アンケート結果について

NO	質 疑 (委員)	回 答 (事務局等)
1	・ 回答者の年齢別割合は、実際の年齢別人口分布と比較してどうか。若年層の回答率が低いが、意見に偏りはないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 若年層(20歳代)の回答率がやや低い傾向にあるが、実際の年齢別人口の割合と大体合っており、意見の偏りは大きくないと思われる。(事務局)</li> <li>➢ 一般的に中高年層の方が、意識が高い傾向にある。(委員長)</li> </ul>
2	・ 地区で回答率にばらつきがあるので、年齢別割合と併せて、意見に偏りが生じていないか再度確認していただきたい。	➢ 地区別の回答率については、すべての地区で3割を超えていることから偏りはないと思われる。(委員長)
3	・ 今年3月30日より、都市計画区域の再編が適用されたが、新しく統合された地区に関して、アンケートの回答で特色が出ていれば教えていただきたい。	➢ 地区毎の集計は行っているが、都市計画区域での分類はしていない。地区毎の特色については、今後捉えていきたい。(事務局)
4	・ P7の重要な軸について、菊池川、繁根木川などの河川に関する項目があるが、整備することを想定しているのか。もしくは、景観としての軸を指しているのか。	➢ 良好な景観の軸として捉えている。(事務局)
5	・ 防災面の対策と併せて河川周辺の風景や親水性の向上など景観面に配慮する必要がある。今後は、経済の発展も大事だが、住民の住みやすさや幸福度の向上も重要になる。	➢ 豊かな自然環境を活かしながら、安全・安心のまちづくりを追求していくことが大事である。(委員長)
6	・ 昨年、九州新幹線 新玉名駅や国道208号バイパスが開通されたことから、それらを活かしたまちづくりを行ってほしい。	➢ アンケートの中にも駅周辺に関する項目があることから、計画策定においても意見を反映していく。(委員長)

●（議題 1）都市計画マスタープランにおける本市の課題について

NO	質 疑	回 答
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史・文化に関する内容が少ないので、マスタープランに反映してほしい。横島の干拓地や古墳、埋蔵文化財などについての記載がない。歴史ある建築物の文化財指定についても、文化課と協議しながら計画に加えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 今回の資料は、都市計画の全体的な視点からまとめているため記載がないが、計画本編においては取りまとめているため、歴史・文化についても反映させる。（委員長）</li> <li>➢ ご指摘の通り、本市には歴史・文化資源が多くあるため、それらを活かしたまちづくりとして計画本編に反映させていく。（事務局）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “玉名市民が大切にしているものや誇りにしているもの”について、アンケートなどで把握できるか。新駅周辺の整備も、市民が何を大切に思っているかを把握した上で計画すれば、市民目線のマスタープランになると思う。</li> <li>・ 「玉名市総合計画」等の中では調査されていると思われるので、反映させてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ アンケートの設問に“玉名市民が大切にしているものや誇りにしているもの”を伺う設問はないが、自由意見欄にも参考となる意見が多く寄せられているので、そこから市民目線を汲み取って計画に反映させていきたい。（事務局）</li> <li>➢ 総合計画のアンケートデータを確認し、都市マスに関連するものについて反映させる。（事務局）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年層のアンケート回答率が低いが、計画策定において若者の意見を積極的に取り入れてほしい。意見収集の手法として、フォーカスグループ（5～6人）インタビューでヒアリングなど行ってはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 今年の秋から住民ワークショップを行うので、その際に若者の意見をできるだけ引き出すよう配慮したい。（事務局）</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新玉名駅周辺については、現在、大型電機店とホームセンターの建設が決定しているが、看板や建物の色やデザインを景観に配慮したものになっている。</li> </ul>	-
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市の核はどこか分かりづらい。（新玉名駅、玉名駅、高瀬、現庁舎周辺、新庁舎周辺など）課題の中でもコンパクトシティが挙げられているが、市民に分かりやすい計画にしてほしい。</li> </ul>	-
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道 208 号と新規に整備された国道 208 号バイパスは、性質が異なるので明確に分けて記載してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 以後、留意する。（事務局）</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道について、新玉名駅周辺の玉名平野の排水について課題に挙げられる。昔は、市民会館周辺は浸水していた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 現在、排水対策として農林水産政策より一部整備を行っている。整備に関しては、優先順位をつけて順次行っているが、バイパスの北南については、長期的な取組となる見通しである。（事務局）</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30～50 年後を捉えた場合、農地開発が進行すると、雨水が密集地へ流入するまでの時間が早くなり、防災の観点からもリスクが増大する。特に玉名平野は広域の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 玉名平野について、下流からバイパスに向かって順次整備を進めているところである。また排水状況について調査済みであり、それに伴う排水計画も策定中である。（事務局）</li> </ul>

	ため、雨水をどこへ流すかも検証する必要がある。	局)
9	・コンパクトシティや低炭素など専門的な用語についての説明がほしい。併せて、それが具体的に何を指しているのかも教えてほしい。	➤ 次回以降の委員会にて、語句説明の資料をつけるなど対応する。(事務局)
10	・肥後伊倉駅周辺において、花のあるまちづくりをやっているので都市計画課に指導・バックアップをお願いしたい。	—
11	・コンパクトシティについて、玉名市の問題点、施策についてどのようなことを考えているか。一般的な課題であると思うが、玉名の特性を踏まえ、取りまとめてほしい。	➤ 本市の場合、1市3町が合併したことを踏まえ、地区の拠点の連携などソフト面での対策を考えている。(事務局)
12	・玉名平野など浸水の恐れのある地域に住宅として利用するのはどうかといった観点からコンパクトシティの実現を目指してほしい。	➤ コンパクトシティの実現においては、交通ネットワークも重要となる。様々な視点から考察し、玉名版コンパクトシティの実現を目指したい。(委員長)

### (3) 今後の予定

- ・ 本日までご指摘いただかなかったご意見については、後日事務局までご連絡いただく。
- ・ 次回の策定委員会は、7月中旬以降を予定している。詳細については、再度連絡を行う。

以上.